



# 城陽エコパートナー通信

Vol. 3

発行日：平成 16 年(2004 年) 7 月 2 3 日

編集・発行：城陽環境パートナーシップ会議  
(事務局) Tel (56)4061 Fax (56)3999



## 平成 16 年度総会を開催

### ～愛称を「城陽エコパートナー」に決定～

去る 6 月 6 日(日)に城陽環境パートナーシップ会議の平成 16 年度総会を開催し、約 50 人の会員が参加しました。

総会では、平成 15 年度の「事業報告」および「収支決算案」、花いっぱい運動やフリーマーケットの開催など新規事業を盛り込んだ、平成 16 年度の「事業計画案」と「収支予算案」の審議を行いました。いずれも原案通り承認され、欠員となっていた副会長に芦原昇氏が就任されることも併せて承認されました。

また、議事の終了後、一般公募していた会議の愛称が「城陽エコパートナー」に決定したことを発表し、作者の谷口真佐子氏に感謝状と城南衛生管理組合リサイクルプラザの協力を得て作成した記念の絵皿を贈呈しました。今後、あらゆる機会を通じてこの愛称を PR してまいりたいと考えており、今回から会報の名称も変更させていただきました。

第 2 部では、本会の会員である同志社大学大学院の新川達郎教授が「環境パートナーシップ会議の活動とその展望」と題して基調講演。市民参加による環境基本条例や基本計画の策定経過、環境問題の広がり当事者の多様化、パートナーシップ(協働)による推進組織の必要性と役割、等について説明された後、城陽エコパートナーの展望について、これまでの活動内容と成果を踏まえた上で、「各種団体との協力」「自立的な運営」「専門的な知識の習得」を今後の課題として提言されました。

その後の交流会では、レモンの皮などを練りこんだ会員の手作りによる「エコクッキー」を試食しながら、「環境問題、今、私たちにできること」をテーマに、楽しい雰囲気の中で意見交換を行い、生ごみ処理の取り組み事例が紹介されました。

今回は、「ごみ減量」や「省エネ」「環境教育」に話題が集中し、「家庭での取り組み」や「ものを大切にする心」の必要性などについて、貴重なご意見やご提案をいただきました。

また、会場には、市内の環境 NPO や市民団体が日ごろの活動内容を紹介するパネルや写真等を展示され、参加者の関心を集めていました。



## 平成15年度収支決算

(平成15年10月25日～平成16年3月31日)

### 1. 総括表

項 目	決 算 額	備 考
総 収 入	503,578	
総 支 出	260,006	
収 支 差 額	243,572	2004年度へ繰越

### 2. 収 入

項 目	予算額	決算額	差額 -	備 考
(1)会 費	300,000	480,000	180,000	
(2)環境パートナーシップ募金	0	23,578	23,578	2月3日～2月29日まで
(3)寄 付	0	0	0	
(4)預金利息	0	0	0	
合 計	300,000	503,578	203,578	

### 3. 支 出

項 目	予算額	流用額	流用後予算額	決算額	差額 -	備 考
(1)事 業 費	190,000	70,000	120,000	116,200	3,800	井戸端会議等展示用資料、自然観察会チラシ送付代、環境家計簿印刷製本代、募金箱代等
(2)広 報 費	65,000	0	65,000	51,495	13,505	会報郵送代、封筒(長3形)印刷代等
(3)調査研究費	11,000	0	11,000	1,850	9,150	部会資料送料代
(4)事 務 費	21,000	70,000	91,000	90,461	539	会議開催通知切手代、会員証用ラミネートシート、封筒(角2形)代、会費振込み手数料等
(5)予 備 費	13,000	0	13,000	0	13,000	
合 計	300,000	0	300,000	260,006	39,994	

## 平成16年度事業計画

環境ビジョン	平成16年度の取組内容
生活	身近な河川の観察会 身近な河川の美化活動の啓発
自然	野鳥観察会の実施 里山保全に関する調査・研究
快適	花いっぱい運動の実施(花の種・苗の配布) 街角安全探検の実施
循環	生ごみ処理機の普及・啓発 太陽光発電(家庭用)に関する調査・研究 フリーマーケットの開催 リサイクル・省エネアイデア募集とPR
参加	環境フォーラム・井戸端会議の開催 会報(環境通信)の発行
地球環境	環境家計簿の普及・啓発



～環境家計簿を利用しましょう～

## 平成16年度収支予算

(平成16年4月1日～平成17年3月31日)

前年度(平成15年度):平成15年10月25日～平成16年度3月31日

### 収入の部

単位:円

項目	予算額	前年度予算額	対前年度比較	摘要
1 会費収入	480,000	300,000	180,000	賛助会費 @20,000×24会員
2 募金収入	12,000	0	12,000	募金 @1000*12月
3 補助金収入	150,000	0	150,000	京都府補助金「自然と歴史文化に学ぶみどりの体験活動支援事業」申請予定。補助率1/2
4 受取利息	1,000	0	1,000	
5 前期繰越収支差額	243,000	0	243,000	前期繰越収支差額 243572円
収入合計(A)	886,000	300,000	586,000	

### 支出の部

単位:円

項目	予算額	前年度予算額	対前年度比較	摘要
1 事業費	568,000	190,000	378,000	講師謝礼、備品購入、書籍購入、消耗品費、通信運搬費
2 広報費	100,000	65,000	35,000	啓発用ポスター・チラシ・リーフレット印刷等
3 調査研究費	10,000	11,000	-1,000	書籍等購入
4 事務費	114,000	21,000	93,000	会議用消耗品、事務消耗品、通信運搬費、振込手数料
5 予備費	94,000	13,000	81,000	
支出合計(B)	886,000	300,000	586,000	
収支差額(A)-(B)	0	0	0	

## 活動レポート

### 野鳥観察会&ごみ拾い



晴天に恵まれた5月30日(土)、古川周辺で野鳥の観察会を開催し、小学生から60歳代までの会員ら約50人が参加しました。

今回の観察会は、城陽生きもの調査隊の協力を得て実施したもので、講師は、巨椋野外鳥類研究会の

中川宗孝氏と日本野鳥の会の植田光弘氏らにお願いしました。

午前9時に寺田西小を出発した一行は、近くの水田で、ケリの親子が飛び回る姿や、エサを食べるサギの様子を観察し、鳥の見分け方や習性などについて説明を受けました。

続いて、古川の川辺に入ると、イシガメやウシガエル、タウナギが見つかり、子供たちも大喜びでした。また、帰りには、川沿いに捨てられた空き缶やペットボトルなどを拾い集め、分別したごみは、ビニール袋22個分にもなりました。

この日の観察会では、参加者全員が、ふるさとの自然を再発見するとともに、保全に向けた取り組みの必要性を再認識するなど、有意義な一日となりました。



会員大募集！

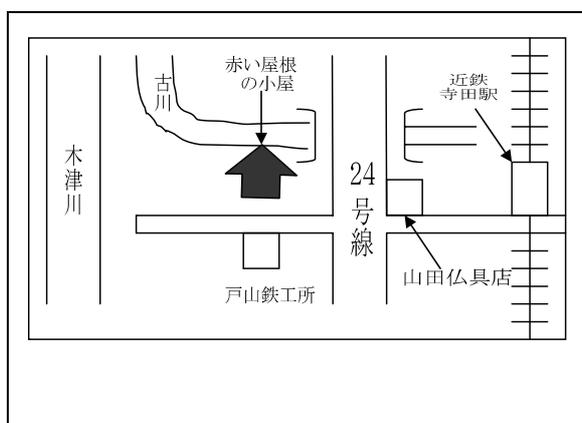
## 「水辺で遊べる古川を作る会」

世話代表 中西 佳男  
連絡先 城陽ローンテニス倶楽部  
TEL 0774-53-7606・FAX 0774-56-5054

毎月、第2日曜日の朝 10 時～12 時まで、赤い屋根の小屋(下図参照)を拠点にごみ拾いを行っています。ゴム長ズボンをはいて川の中を歩くのって、ホント楽しいですよ。メダカもコイもアオサギもいます。ちょっと働いたかなと思ったら、すぐお茶になるのがまた良いのです。

参加したいけど用事も多いし…とためらっているあなた！みんな同じですよ～。だからもっと多くの人に来て欲しい。まずは会員になってください。それからお休みが続いても気にせず、来られる時に来て下さい。細く長くのお付き合いです。

水辺で遊べるなんて、ちょっと前まで当たり前だったことを、もう一度当たり前に戻しましょうよ。ここがひとつの拠点となってごみを捨てる人が捨てるづらくなる城陽にしよう！



※このコーナーでは、皆さんの『環境保全に向けた活動』や『省エネ・リサイクルのアイデア』などをご紹介します。掲載を希望される方は、事務局までご連絡ください。

## 部会に参加しませんか

### 生活・自然部会

身近な河川や動植物、花いっぱい運動 など

### 循環・地球環境部会

ごみの減量、太陽光発電、環境家計簿 など

**開催日時**：いずれも毎月第1・第3木曜日の午後7時～9時（変更の場合あり）

**開催場所**：市役所内会議室（変更の場合あり）

**申し込み**：参加を希望される方は、事務局までご連絡ください。



## 次の方・団体から賛助会費をいただきました。誠にありがとうございました。

イズミヤ(株)大久保店、京都城陽ロータリークラブ、近畿砂利協同組合、京阪観光開発(株)東城陽ゴルフ倶楽部、サントリー食品工業(株)宇治川工場、(株)城南工建、城陽金融会、城陽市建設業協会、城陽市役所、城陽商工会議所、(社)城陽青年会議所、白鳥幼稚園、星和電機(株)、玉井開発、中西佳男、長池工業(株)、(株)長尾組、日本観光ゴルフ(株)城陽カントリー倶楽部、(株)富士産業開発社、(株)平和堂アル・プラザ城陽、(株)ミズホ、森澤博光、(株)山岡製作所

※平成16年6月末日現在（五十音順・敬称略）